第31号　2024年9月吉日発行
JA香川厚生連 滝宮総合病院 広報誌
NO. 31

たきのみや

当院は日本医療機能評価機構認定病院です

～ Contents ～

内科 新任医師 紹介
診療・医療情報
脳卒中について知っておきたいこと
リハビリプログラム
腰痛ストレッチ
お薬コラム
ゴーストピルについて

□ 病院理念
私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、
皆様から信頼され支持される病院をめざします

新任医師紹介

7月より当院に異動してまいりました
新任の医師をご紹介いたします

内科部長
内 田　尚 仁

消化器内科医として7月より赴任致しました内田尚仁と申します。消化器内科の膵胆道疾患を専門とした診療を行なっております。膵疾患としては膵炎、膵管内乳頭粘液腫瘍（IPMN）を中心とした嚢胞性膵疾患、マスコミでも良く取り上げられる膵癌などがございます。胆道疾患では、総胆管結石や胆嚢結石などの胆石、腫瘍性疾患では胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌などが挙げられます。これらの疾患の診断においては、超音波内視鏡検査（必要に応じてEUS-FNA(FNB)(超音波内視鏡検査を用いた組織学的検査)）や放射線科医と協力してCT検査やMR検査などを用いて的確な診断を行なっております。治療に関しましては負担の少ない内視鏡的治療（例えば総胆管結石を内視鏡を用いて経口的に摘出する治療や胆管が詰まったために生じる閉塞性黄疸に対するステント留置術）を行うとともに、腫瘍性疾患に関しては消化器外科医を中心とした手術あるいは腫瘍内科（香川大学より腫瘍内科医が定期的に派遣）と協力して抗癌剤治療を行なっております。気になることは気兼ねなくご相談ください。

脳卒中について知っておきたいこと

副院長（脳神経外科部長）　進藤 徳久

脳卒中とは、脳の血管がつまったり破れたりすることで脳の血管に障害を起こす病気です。多くは、前触れなく突然発症する点が特徴です。この脳卒中について、皆さんに知っておいていただきたいことをお話いたします。

脳卒中の病型分類

脳卒中の病型は「**脳梗塞**」、「**脳内出血**」、「**くも膜下出血**」の大きく３つに分類されます。

病型それぞれの治療方法

・**脳梗塞**の治療：脳梗塞の治療は「血栓溶解療法」、「血栓回収療法（カテーテル治療）」、「神経保護や再発予防目的の点滴、内服」、「血行再建術（頸動脈ステント留置術）」になります。

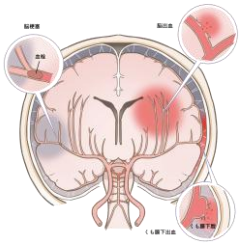
「血栓溶解療法」は脳梗塞の症状出現から4.5時間以内にｔＰＡという血栓を溶かす薬を静脈投与する治療です。
有効な方法ですが、頭部ＣＴ所見・血圧・採血結果などの条件が定められており、すべてクリアしていないと行うことはできません。

「血栓回収療法」はカテーテル治療で脳動脈を閉塞させている血栓を回収する方法です。ｔＰＡを投与したけれど再開通しなかった際に行うことが多くなっています。
なお、血栓溶解療法や血栓回収術は、発症から治療開始までの時間が早ければ早いほど治療成績が良いとされています。

「頸動脈ステント留置術（ＣＡＳ）」は脳梗塞の原因となる頸動脈プラークを、ステントを用いて頸動脈壁に圧着させ、頸動脈狭窄を改善させる手術で、カテーテルを用いて行う血管内手術です。

・**脳内出血**の治療：脳出血の急性期治療は、保存的治療（降圧剤の持続投与・止血剤投与）、内視鏡下での小開頭血腫除去術、開頭血腫除去術になります。早く病院を受診し薬投与を開始できれば、出血増大を防ぐことができます。

・**くも膜下出血**の治療：脳動脈瘤に対する「開頭クリッピング術」と、脳動脈瘤に対する「コイル塞栓術（カテーテル治療）」が主たる治療方法となります。最近は、医療機器の進歩によりカテーテル治療を選択することが多くなっています。



ここまでは脳卒中に「なった後」のことでした。ここからは「なる前」、予防法についてお話いたします。

脳卒中の発症に関連する生活習慣・危険因子

脳梗塞は誰もが発症しうる病気ですが、脂質異常、糖尿病、高血圧、肥満など「危険因子」のある方はその危険性が高くなります。まず、これらの危険因子を減らすための10か条をお示しします。

１．手始めに高血圧から治しましょう
２．糖尿病放っておいたら悔い残る
３．不整脈見つかり次第すぐ受診
４．予防にはタバコを止める意志を持て
５．アルコール控えめは薬、過ぎれば毒
６．高すぎるコレステロールも見逃すな
７．お食事の塩分・脂肪控えめに
８．体力に合った運動続けよう
９．万病の引き金になる太りすぎ
１０．脳卒中起きたらすぐに病院へ

どれも大切ですが、今回は「10」についてのみ説明します。先にもお示ししたとおり、脳卒中の治療は「**時間との闘い**」の一面が強くあります。「**片側の顔面・手足が動かない、しびれる**」、「**片目が見えない、物が二重に見える**」、「**言葉が出ない、人の話が理解できない、呂律が回らない**」という症状があれば、救急車を使って病院受診してください。
また、この症状が短時間（10分以内）出現して、自然に消失する「一過性脳虚血発作（ＴＩＡ）」があります。ＴＩＡが起こると、48時間以内に脳梗塞を発症する可能性が高いので、この場合も可能な限り早期に病院受診してください。

脳ドックの重要性

保険診療は、「症状が出てから」になりますが、脳疾患や脳卒中の危険因子を発見するには有効な「脳ドック」があります。健康保険が使えず、費用は全額負担にはなりますが、受けたい検査を自由に選択することができ、一般の診療と比べ、結果説明を受けるための待ち時間は少なく、当院でしたら結果説明にも30分を確保しています。検査項目としては、① 血液検査、② 頭部ＭＲＩ・ＭＲＡ＋頚部ＭＲＡ、③ 頚動脈エコー、④ 心電図、⑤ その他（頭部・頚椎レントゲン等）があり、先述の危険因子の検査を網羅することも可能です。
脳卒中を100％予防することはできません。しかし、自分の努力や治療で発症リスクや脳卒中の重症度を下げることができます。
できることからはじめましょう。

座ってできる！！リハビリプログラム

腰痛ストレッチ

理学療法士　木下 誠智

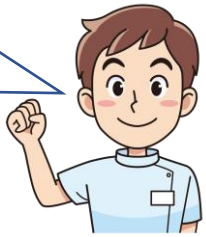
2022年の厚生労働省による国民生活基礎調査によると80歳以上の方の健康状況の自覚症状で男女ともに1位が腰痛となっています。

このように、日頃から腰痛に悩まされている方は多くいらっしゃいます。

今回は腰痛緩和に役立つ、すき間時間に座ってできるストレッチを紹介します。

・脚を組み、上体を前へ倒していく。

・太ももの外側に伸びを感じればOK



ポイント

①少し痛気持ちいいぐらいのところまで伸ばす。

②息を止めないように、深呼吸を繰り返す

③組んでいる足が上がってこないように注意

毎月「院内学術講演会」を開催しています

当院では、地域の皆様との交流を深め、医療や健康への関心を持っていただくため、毎月第4火（もしくはそれに続く水・木）曜日に「院内学術講演会」を開催いたします。

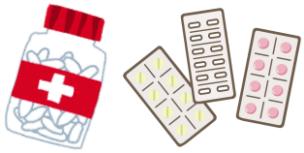
9月の開催日時：令和６年９月25日(水) 15:00～16:00
10月の開催日時：令和６年10月23日(水) 15:00～16:00
場所：滝宮総合病院 健康館5階 講堂

※ どなたでも参加いただけます。詳細につきましては、
電話(087-876-1145)もしくはE-meil(ayauta-ikenkokan@takinomiya-hp.com)まで
お問い合わせください。

ゴーストピルについて

薬剤師　藤岡 広大

おくすりの中には、おくすりの主成分が吸収された後、添加物の一部が残渣となって糞便中排泄されるものがあります。これらは「ゴーストピル」や「ゴーストタブレット」と呼ばれ、剤の形をしたもののほか、“白いつぶ”のようなものが排泄されることがあります。
これらの現象は、おくすりの効果を長時間発揮させるため（徐放性製剤等の放出制御）の工夫をしたおくすりに多くみられます。



ゴーストピルがみられる薬は？

血圧、てんかん、潰瘍性大腸炎など様々な疾患に用いられる薬で見られます。先に書いてありますように、長時間効果を発揮するように作られたおくすりで見られます。おくすりの形を残していたり、白いつぶが糞便中に出てくると、びっくりされたり不安になる方もおられるかもしれませんが、お腹を下していない限り、おくすりはしっかり吸収されていると考えられていますので安心して服用してください。

ゴーストピルのイメージ図

服用するときの注意は？

ゴーストピルがみられるおくすりは、特殊な構造・コーティングをしているものが多いです。粒が大きいからと言ってかみ砕いてしまうと思わぬ副作用が出たりしますので、そのまま服用するように注意してください。

職員の募集について

当院は現在、**看護師・保健師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・准看護師**、並びに**「令和7年度採用」看護師**の募集を行っております。
※ 詳細については、病院ホームページの「採用情報」ページをご覧いただく、
又はお電話(087-876-1145)で採用担当（庶務課：長尾）までお問い合わせください。

香川県厚生農業協同組合連合会
滝　宮　総　合　病　院

〒761-2393　香川県綾歌郡綾川町滝宮486番地
Tel 087-876-1145㈹　　Fax 087-876-1302
URL：http://www.takinomiya-hp.com

香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院　広報紙「たきのみや」　　発行責任者：企画広報室・患者サービス向上委員会